

2015年7月21日

■ アルトサクソフォンの最上位モデル、13年ぶりのモデルチェンジ**ヤマハ アルトサクソフォン 『YAS-875/875EX』**

- 操作性や演奏性を向上させ、より自由な表現が可能に。7月28日（火）発売 -

ヤマハ株式会社は、アルトサクソフォンの新製品として、『YAS-875』『YAS-875EX』の新モデルを7月28日（火）より発売します。

<価格と発売日>

品名	品番	価格	発売日
ヤマハ アルトサクソフォン	YAS-875	485,000円（税抜）	7月28日（火）
	YAS-875EX	485,000円（税抜）	

◎初年度国内販売予定数：800本（2品番計）

※受注生産として、銀メッキ仕様「YAS-875S」「YAS-875EXS」（いずれも税抜535,000円）、金メッキ仕様「YAS-875G」「YAS-875EXG」（いずれも税抜1,185,000円）も対応します。

<製品の概要>

当社は、1966年にヤマハブランドの管楽器一号機としてトランペット「YTR-1」を発売し、以来、国内外のトッププレーヤーとの対話を重ね、技術革新やノウハウを蓄積してきました。1988年には、程良い抵抗感と心地よい吹奏感を持ち力強い響きを特長とした当社初めてのカスタムサクソフォン「YAS-875」を、2002年には上質で威厳のあるサウンドと素早いレスポンスを両立した「YAS-875EX」を発売しました。いずれのモデルも発売以降、当社ラインナップの最上位モデルとして多数のプロアーティストから高い評価を受けるなど、好評を博してきました。

このたび発売する『YAS-875』『YAS-875EX』は、13年ぶりのモデルチェンジとなるものです。プレーヤーの求める音色や響きを自由に表現できることを追求し、設計を一から見直しました。豊かな音色にこだわりながら、操作性や演奏性を向上させることで、プレーヤーが余計なストレスを感じることなく演奏に専念できる楽器を目指しました。

キイの機構や配置を見直したことにより、操作性が向上したほか、音孔など詳細にわたって管体設計を見直し、音程の正確性や低音の発音性を高めました。また、付属マウスピースの設計を一から見直し、ベルの彫刻デザインも一新するなど、細部にまでこだわっています。

詳細は以下の通りです。

<主な特長>

1. キイの機構と配置を見直し、スムーズな操作が可能

手の大きさに関わらず誰でもストレスなく操作できるように、何度も試作を重ね、最適なキイの配置を追求しました。フロントFキイの機構や、左手パームキイの間隔、右手サイドキイの高さなどを変更したことで、運指がより容易になり、スムーズな操作性を実現しました。



フロントFキイ



左手パームキイ



右手サイドキイ

2. 音孔径の最適化により、演奏性が向上

音孔のサイズや位置を見直して最適化しました。これにより、演奏者にとって調整しづらい中音域の音程の正確性がさらに向上したほか、低音域がより発音しやすくなりました。また、どの音域においてもより安定した吹奏感と心地よい抵抗感を実現しました。

3. ベルの彫刻デザインを一新

『YAS-875』『YAS-875EX』では、ベルに一本ずつ手彫りで彫刻を施しています。この彫刻デザインを一新し、百合の花をモチーフにして、照明が当たった時に立体的に見えるデザインを採用しました。



4. 設計を一から見直したマウスピースを付属

付属マウスピースの設計も一から見直しました。これにより、アンブシュア（注）をコントロールしやすくなったほか、音の遠達性が向上しました。

<主な仕様>

	YAS-875	YAS-875EX
調子	E♭	
キイ	High F#、フロントF	
管体素材	イエローブラス	
仕上げ	ゴールドラッカー	
指掛け	可動式	
指貝	白蝶貝	
付属品	マウスピース、ケース	

<注>

アンブシュア

マウスピースをあてたときの口の形、または口の周りの筋肉の使い方のことを指します。アンブシュアによって音色や音程が変わるため、アンブシュアのコントロールは管楽器演奏において基本的かつ重要な技術です。



ヤマハ カスタムアルトサクソフォン
(左から) 『YAS-875EX』 485,000 円 (税抜)
『YAS-875』 485,000 円 (税抜)

* 文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

この件に関するお問い合わせ先

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 広報部 宣伝・ブランドマネジメントグループ 担当：橋本

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-6605

FAX 03-5488-5063

ウェブサイト http://jp.yamaha.com/news_release/
(取材申し込みや広報資料請求が可能です。)

■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン お客様コミュニケーションセンター
管弦打楽器ご相談窓口

TEL 0570-013-808

(ナビダイヤル、全国どこからでも市内通話料金)